

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズよつば		
○保護者評価実施期間	2024年 7月 1日		2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2024年 7月 19日		2024年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 9月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者との関りが多く、一緒に遊ぶ時間や話を聞く時間を大切にしている。したい事や興味のある事を利用者から発信してくれる。	利用者との時間を大切に、流行りや興味のある事は、可能な範囲でかなえたいと思っている。利用者と一緒に流行りに興味を持てるよう努めている。	今後も利用者との話をする時間を大切にしていく。
2	支援内容や一日の様子を記録と共に写真にして確認できるようにしている。	利用者の表情や一緒に遊んでいる友達の顔などを知ってもらう事で、家での会話を増やしたり、利用者が家で話やすいようにしている。保護者に安心感を持ってもらうためでもある。	こまかく情報を発信する。
3	長年働いている指導員が多く、子供達の特性や性格を理解して接することができる。	指導員同士のコミュニケーションを多くとり、その都度、利用者の様子や気になる事を伝え合っている。	今後も些細な内容でも話し合って情報を共有していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の利用者数が少なく同世代の友達との関りが少ない。	小学生以上の利用者で定員がいっぱいになっている。	指導員の子ども(同世代)を関わる機会を設ける。
2	事業所の場所が細い道に面しているため、車で迎えに行きにくい、場所が分かりにくい。	住宅街なので、目印が少なく、場所の説明がしにくい。道も細いので、大きな車では通りにくい。	近くのもろい橋のところまで送迎し、保護者と待ち合わせをして引き渡しを行っている。
3	部屋数が少ない。	2部屋の間仕切りを取り除いて1つの広い部屋にしているのので、部屋数が少ない。	必要に応じて間仕切りを設置し、部屋数を確保する。その場合、全員で活動できる部屋が減る。